

令和4年度 学校経営の方針と重点

はじめに

公教育として、憲法、教育基本法等、学習指導要領及び北海道教育推進計画、日高管内教育推進の重点、新ひだか町教育行政執行方針等に基づき学校経営に努め、学校教育目標の具現化を通して調和の取れた一人一人の人格形成を目指す。

また、学習指導要領で重視されている①生きてはたらく知識技能、②未知の状況にも対応できる思考力判断力表現力、③学びを社会や人生に生かそうとする学びに向かう力・人間性等について、子供たちに身につけさせ、様々な状況下でも課題を解決できる力を育てる。

さらに、自己評価や保護者アンケート等から本校の課題が明確となり、その方策を学校経営の重点として位置付け、全教育活動の中で課題解決に取り組んでいく。

そのためには、保護者・地域に開かれ信頼される学校づくりを基盤として、教師自らが切磋琢磨し、指導体制を確立し一丸となってその職責を果たす。

1 本校教育の基底

(1) 教育目標の系列

- ◎日本国憲法 ◎教育基本法 ◎学校教育法 ◎学習指導要領
- ◎関連法規

(2) 北海道教育推進計画

【北海道教育の基本理念】

【自立】自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む

【共生】ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む。

2 日高管内教育推進の重点

重点1 育成を目指す資質・能力を確実に身に付けさせる授業改善

- 学習指導要領の趣旨を踏まえた指導と評価の一体化
- 子ども一人一人の学びの過程を重視した授業の展開
- 「個別最適な学び」を充実するための効果的なICTの活用

重点2 未来の日高教育を創造していく教職員の育成

- 高い専門性と実践的指導力の習得
- 新たな教育課題に対応する力の向上
- 多様な人材等と連携・分担して課題解決に取り組む力の習熟

重点3 教育活動の質の向上を図る「働き方改革」の着実な推進

- ICTを積極的に活用した校務の効率化
- 個とチームの役割を明確にした協働的な学校体制の構築
- 地域とともにある学校への転換

3 新ひだか町教育行政執行方針（学校教育関係分のキーワード）

- ◎ 地域を活かしたふるさと教育・CS・社教施設活用の充実
- ◎ 協働的な学びを充実させる授業改善
- ◎ ICTの効果的な活用と学びの保障
- ◎ 一人一人に応じた支援（適応指導教室を含む）
- ◎ 中学校ブロックでの連携強化、学力向上

4 学校教育目標

〔昭和61年制定〕
〔平成16年改訂〕

知・徳・体の調和
的発達を目指し、
人間性豊かな子
どもを育成する

進んで学ぶ子

- ① 様々な事象に関心を持ち、より深く知ろうと努力することができる子ども
- ② 自分の目標を持ち、意欲的に学習することができる子ども
- ③ 話を最後まで聞き、自分の考えをはっきり言うことができる子ども
- ④ 基礎・基本と学習する習慣を身に付けた子ども

心のやさしい子

- ① 他人をいたわり、思いやるやさしさをもった子ども
- ② よいことと悪いことを判断し、進んで実行することができる子ども
- ③ 挨拶がきちんとでき、心のこもった言葉づかいができる子ども
- ④ お世話になった人々に感謝の気持ちをもつことができる子ども

明るくげんきな子

- ① 健康や安全に関心を持ち、よい習慣を身に付けた子ども
- ② だれとでも仲よく遊び、さわやかに明るく行動できる子ども
- ③ 進んで体を動かし、楽しもうとすることができる子ども

最後までやりぬく子

- ① 目標や課題に向かって、最後まで取り組むことができる子ども
- ② お互いに協力して、学習や活動ができる子ども
- ③ 自分の責任を果たそうと努力することができる子ども

5 校訓「勤勉・敬愛」（平成25年度より設定）

教育目標の後ろ盾となるものであり、開校以来連綿として培われてきた理念として設定する。

- ・実践キーワード 勤勉<希望・努力>：敬愛<挨拶、感謝、思いやり>
- ・実践スローガン「すぐに始めよう！もっと繋げよう！」

6 本校の目指す姿

(1) 目指す子ども像

- ① 様々な事象に関心を持ち、意欲的に学習する子ども
- ② 他人をいたわり思いやるとともに、感謝の心を持つ子ども
- ③ 進んで体を動かし、誰とでも仲良く行動できる子ども

(2) 目指す教職員像

- ① 愛情と熱意にあふれた、信頼される教育を行う教職員
- ② 児童をよく理解し、日々の実践に生かす教職員
- ③ 望ましい教室経営・環境づくりに励む教職員
- ④ 常に研鑽を怠らず、教育実践に情熱を傾ける教職員
- ⑤ 保護者・地域と積極的に連携協力し、期待と信頼に応える教職員

(3) 目指す学校像

- | | |
|-------|------------------|
| 〈児童〉 | 「楽しく学べる学校」 |
| 〈保護者〉 | 「通わせて良かったと思える学校」 |
| 〈地域〉 | 「応援したくなる学校」 |
| 〈教職員〉 | 「やりがいのある学校」 |

7 本校児童の現状と課題

(1) 生活面

- 思いやりを持った児童が多く、異学年集団の中でも発達段階に応じて仲良く取り組むことができる。
- 児童アンケート及び保護者アンケートの結果から、楽しく学校に通っていることがわかる。
- ゲームやYouTube視聴に多くの時間をさき、家庭での生活習慣が乱れている児童も見られる。

(2) 学習面

- どの教科の学習に対しても、意欲的に臨む児童が多い。
- 自分の思いや考えを発表したり、筋道を立てて説明したりする力は徐々に身に付いてきているが、書いて文章で表現する力は、まだ弱い。
- 漢字や四則計算等の基礎的学力の定着に、個人差が大きい。

8 年度の重点目標

主体的に取り組むことで、
自他の良さに気づくことができる子どもの育成

〈3つの柱〉

(1) 「文章表現力」

- 自分の考えを読み手を意識しながらわかりやすく文章で書くこと、字数制限やキーワードを用いた条件作文等の指導を推進
- 読み取る力、聞き取る力、感じ取る力を身につけ、思考力・判断力・表現力の向上につなげる「読書活動の充実」
- 国語科を中心とした校内研修（3年次）の推進

(2) 「主体的に取り組む力」

- 少人数指導の特性を生かした授業の展開
- 主体的・対話的で深い学びを追究する校内研修の推進
- ICT機器の効果的な活用を通し、児童の意欲を最大限に引き出し理解度を高められる授業改善

(3) 「自他の良さに気づく力」

- 道徳教育の充実 ○異学年集団の効果的な活動の推進
- 新型コロナウイルスを正しく理解し偏見をなくす指導の推進
- 生徒理解を基盤とした生徒指導の推進

※下線は、校内研修での重点3項目

令和4年度 新ひだか町立桜丘小学校 学校経営グランドデザイン

【学校教育目標】

校訓〈勤勉・敬愛〉

進んで学ぶ子	心のやさしい子	明るく元気な子	最後までやりぬく子
--------	---------	---------	-----------

【目指す児童像】

- 様々な事象に関心を持ち、意欲的に学習する子ども
- 他人をいたわり思いやるとともに、感謝の心を持つ子ども
- 進んで体を動かし、誰とでも仲良く行動できる子ども

【児童の実態】

- 生活面
 - ・思いやりを持った児童が多く、異学年集団の中でも発達段階に応じて仲良く取り組むことができる。
 - ・各種アンケートの結果から、楽しく学校に通っていることがわかる。
 - ・ゲームやYouTube視聴に多くの時間をさき、家庭での生活習慣が乱れている児童も見られる。
- 学習面
 - ・基礎的な知識や学び合いの学習が定着しつつある。
 - ・書いて文章で表現する力は、まだ弱い。
 - ・基礎的学力の定着に、個人差が大きい。

重点教育目標

主体的に取り組むことで、自他の良さに気づくことができる子どもの育成

(3つの柱)

- 1 「文章表現力」
～生きてはたらく知識・技能～
- 2 「主体的に取り組む力」
～未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力～
- 3 「自他の良さに気づく力」
～学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等～

【目指す学校像】

- 〈児童〉 「楽しく学べる学校」
- 〈保護者〉 「通わせて良かったと思える学校」
- 〈地域〉 「応援したくなる学校」
- 〈教職員〉 「やりがいのある学校」

【経営の基本方針】

- 1 開かれた学校づくり
- 2 地域や保護者とのコミュニケーション
- 3 教職員の資質向上のための研修の推進
- 4 小規模の特性を生かした授業改善
- 5 道徳教育の推進と改善
- 6 生徒理解を基盤とした生徒指導の徹底
- 7 地域人材の活用により地域・家庭・関係機関との連携を図る。
- 8 新型コロナウイルス感染症の予防の徹底を柱とした危機管理能力向上を図る

【主な具体的方策】

項目	今年度の具体的方策
学校力向上	<input type="checkbox"/> 学校評価アンケート(抜粋)をもとに、検証・改善を行う <input type="checkbox"/> 報連相の徹底と複数対応の原則により、ミスのない対応を図る <input type="checkbox"/> ミドルリーダーの育成 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス予防と対策の強化
教職員の資質能力の向上	<input type="checkbox"/> ICT機器を効果的に活用し授業力向上を目指した教員研修の推進 <input type="checkbox"/> 学力向上プランの見直し <input type="checkbox"/> 複式学級における授業の工夫(研修)
学力向上	<input type="checkbox"/> チャレンジテストの有効活用 <input type="checkbox"/> 授業の流れを重視した授業改善の推進(課題→見通し→自力解決→学び合い→まとめ 等) <input type="checkbox"/> ICT機器の効果的な活用を柱とした授業改善
体力向上	<input type="checkbox"/> 新体力テストの全学年での実施 <input type="checkbox"/> 縄跳び・マラソンの継続的な実施
豊かな心の育成	<input type="checkbox"/> 道徳の授業改善と公開 <input type="checkbox"/> 児童会を中心とした取組の推進 <input type="checkbox"/> いじめ対応マニュアルの徹底と確実丁寧な初期対応
特別支援教育	<input type="checkbox"/> 担当教員の研修の充実 <input type="checkbox"/> 効果的な支援員活用方法の工夫 <input type="checkbox"/> パートナーティーチャーとの連携
働き方改革	<input type="checkbox"/> 働き方改革のねらいの共有 <input type="checkbox"/> 地域・保護者への発信(理解を得る) <input type="checkbox"/> 町の施策等の有効活用
地域・保護者・異校種との連携	<input type="checkbox"/> 学校運営協議会の効果的な運営 <input type="checkbox"/> 小中連携の推進 <input type="checkbox"/> 保護者・地域との連携を重視した学校行事の運営

【目標・評価】

○ 全国学力・学習状況調査による項目	○ 目標	○ 評価
<input type="checkbox"/> 全教科の平均正答率	全国平均以上	
<input type="checkbox"/> 国語科の「書くこと」領域の正答率	全国平均以上	
<input type="checkbox"/> 児童質問紙(35)「授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んだ」	「あてはまる」と回答した割合を全国平均以上	
<input type="checkbox"/> 児童質問紙(15)「いじめはどんな理由があってもいけないこと」	「よくあてはまる」と回答した割合を100%	
○ 学校評価アンケート		
<input type="checkbox"/> 児童及び保護者アンケート「進んで学習に取り組んでいるか」	「あてはまる」と回答した割合を90%以上	
<input type="checkbox"/> 児童アンケート「友達や周りの人を大切にしているか」	「当てはまる」と回答した割合を90%以上	
○ 各種調査等		
<input type="checkbox"/> 新体力テストの弱点項目	全国平均以上	
<input type="checkbox"/> 道教委いじめアンケート	いじめ認知件数0	
<input type="checkbox"/> 教職員自己評価		